

## 平成 28 年の平和宣言に関する懇談会の開催結果について（概要）

1 第 1 回目〔4 月 24 日（日）〕

最初に座長である松井市長から、昨年同様、世界の人々が、核兵器廃絶に取り組む際  
の原動力となる信念を固めるために必要な行動理念を提示する考えなどを説明した。その後、  
今年の平和宣言の構成及び内容について議論した。

主な意見は次のとおり。

## (1) 平和宣言の構成及び内容について

- ア 原爆投下によってそれまで育まれた伝統文化などが消滅し、その後も人々が放射  
線障害に苦しんできたことなど、その影響が現在でも継続していることを示したい。
- イ 核兵器の非人道性を訴えるに当たり、多くの人に納得してもらえらる論理展開にす  
るとともに、「情」に訴えるような分かりやすい表現にする必要がある。
- ウ 被爆者が高齢化し、被爆体験を生々の声で語れる人が少なくなる中、若い世代にき  
ちんと伝えることの重要性を訴えたい。

2 第 2 回目〔6 月 21 日（火）〕

第 1 回目の懇談会での議論を踏まえて作成した平和宣言の骨子について議論した。

主な意見は次のとおり。

## (1) 平和宣言の骨子について

- ア オバマ大統領が広島で行った演説を受け、被爆者の「こんな思いを他の誰にもさ  
せてはならない」という思いが、大統領だけでなくアメリカの社会にも届いたとい  
うような表現を入れてもよい。
- イ オバマ大統領は、広島での演説の中で、犠牲となった罪もない人々に言及したが、  
これは、伝統文化や人々の生活が破壊されたというヒロシマの訴えと軌を一するも  
のだ。
- ウ 核兵器廃絶に向けた取組を訴えるに当たっては、自分たちの世代が引き続き取り  
組むことを示した上で、次の世代に引き継ぐために、若者にも訴えるという流れに  
したい。

### 3 第3回目〔7月6日(水)〕

第2回目までの議論を踏まえた文案を提示し、それに基づき、字句の修正を含めて議論を行った。

主な意見は次のとおり。

#### (1) 平和宣言文案の検討について

ア 全体の流れとして分かりやすく平易な表現になっている。

イ 世界中でテロが起こっている状況などを踏まえ、価値観が違う者同士が同じ人間として「共に生きる」大切さを訴えたい。

ウ オバマ大統領の演説を踏まえた部分は、インパクトがあっている。